

令和 3 年度 猪苗代町
通学路安全推進会議（第 1 回合同点検）【報告】

日時：令和 3 年 8 月 1 9 日（木） 14:00～16:40

場所：猪苗代町役場 3 階 正庁 B

進行：教育総務課（杉原）

出席者

構成機関名	担当課等	出席者
国土交通省郡山国道事務所	交通対策課	会津若松出張所 出張所長 星 孝樹
福島県猪苗代土木事務所	業務課	主 査 藤井 秀一
福島県警察猪苗代警察署	地域交通課 刑事生活安全課	警 部 補 上野 勝義 警 部 補 渡部 圭史
猪苗代町	総務課	主 事 小檜山祐樹
猪苗代町	建設課	課 長 古川 睦志 副課長兼係長 大川原政人 主 査 古川 勇一
猪苗代町校長会	会長 (点検箇所地区小学校校長)	翁島小校長 吉川 奏子 千里小校長 高久 賢一
猪苗代町 P T A 連絡協議会	会長 (代理:点検箇所 PTA 会長)	翁島小 PTA 会長 釣巻 智博 千里小 PTA 会長 野口 徹
猪苗代町教育委員会	教育総務課（事務局）	課 長 安部 庄英 主任主査兼指導主事 杉原 圭

1 合同点検（校長・PTA 会長は町公用車で移動。それぞれの公用車で移動）

（1）千里小学校 町道【三城潟・西館線】 学校周辺



交通量が多い。見通しが悪い。そのため、横断歩道を渡る児童のために車両が停止しても、後方車が追い越ししようとして出てくるヒヤリハット事例もある。ドライバーへの注意喚起ができるよう看板等の設置をお願いしたい。



学校敷地から出る場合、左右の安全確認がしにくい。また、道幅が狭くなる箇所もあり、自動車との接触事故も懸念される。児童が安全に歩けるよう、歩道の整備をお願いしたい。

（2）千里小学校 町道【三城潟・西館線】 百目貫（島田・堤崎）地区児童の通学路



こども園駐車場入口

児童は南側に横断して、右側通行ができるひまわりこども園寄りを歩いて進む。

ひまわりこども園へ出入りする車との接触や、こども園を過ぎてからの道幅が極端に狭いことから、自動車との接触事故、川への転落事故等が考えられ大変危険である。



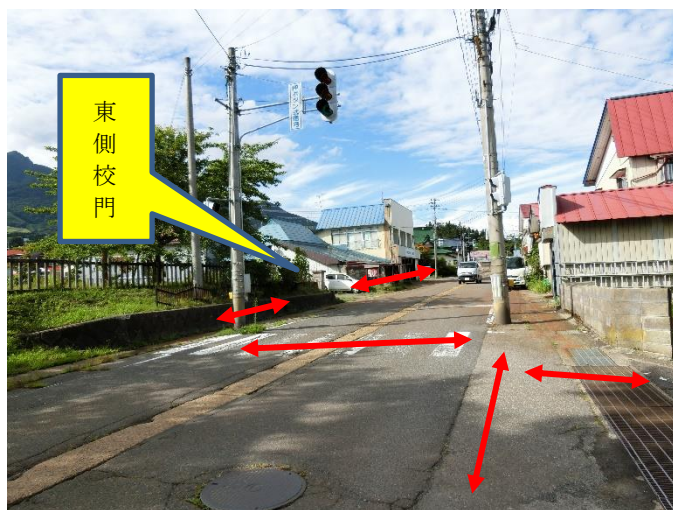
歩道の設置をお願いしたい。百目貫地区以外にも島田・堤崎地区の児童の通学路にもなっている。

(3) 翁島小学校 町道【三城潟・行津線】 学校西側周辺



スクールバス・路線バス利用児童、三城潟地区の児童の通学路。川の側溝が深く、ガードレールがない。雨天時は傘をさしての集団登校であるため、道幅も狭く、車が通ると危険である。(冬期間は積雪もあり、さらに道幅が狭くなる。) 安全に登校させるためガードレールや注意喚起ができる看板等の設置をお願いしたい。

(4) その他 猪苗代小学校 町道【猪苗代・新町線】 学校東側道路速度規制



猪苗代小学校通学路のため、速度規制を時速 40 km から時速 30 km に変更したい。(猪苗代警察署)

2 協議内容「合同点検結果の整理と今後の対応について」(議長：委員長)

(1) 前年度の点検力所の確認と今後の対応について

○猪苗代小学区 渋谷地区バス停留所前の横断歩道設置について

今年度担当が変わったこともあり、今はお答えできない。もう一度現場を点検し、回答しますとのことだった。

(2) 千里小学校 町道【三城潟・西館線】 学校周辺

○道路の幅が狭いが、主要幹線道路（町道）となっていて、利用者も多く交通量が多いのは事実である。スクールゾーン等として歩道に色付けできないかとの提案もあったが、建設課より冬期間の除雪によりすぐに消えてしまうことが考えられると話し合われた。新たに歩道を設置することに関しては、地域住民と土地権利者の意見も聞きながら買収も視野に入れなければならない、早期の解決は困難であるという話し合いがなされた。

○合同点検の結果、ドライバーへの注意喚起のため、看板やのぼり旗を設置する。看板等の手配ができ次第、関係機関によって設置に関する検討会をおこなう。学校敷地内に設置できないかということで話し合われた。

○学校においては児童への登下校に関する安全指導を徹底する。

(3) 千里小学校 町道【三城潟・西館線】 百目貫（島田）地区児童の通学路

○冬期間は道路の雪を押して除雪しているため、現在の歩道部分は使用できないことが多い。

○都市計画道路として将来的に計画があるがすぐに整備するという事は厳しい。現状では手段がない。通学路を変更することで安全が図られるのであれば、学校側で「通学路の変更」も視野に入れてほしい。（町建設課）

○合同点検の結果、通行するドライバーへの注意喚起のため、看板やのぼり旗を設置する。設置する場合の場所と方法については今後検討の余地がある。関係機関との連携のもと、より安全で効果的な場所への設置を検討していく。看板等の手配ができ次第、設置していくという話し合いがなされた。

○ひまわりこども園から千里小学校の区間については、ゾーン 30 として公安委員会で安全への注意喚起ができるが、現状の白線の内側にどのくらいの面積が取れるかが課題になりそうである。今後、公安委員会への上申を進める。（猪苗代警察署 地域交通課）

○学校においては児童の登下校に関する安全指導を徹底する。

(4) 翁島小学校 町道【三城潟・行津線】 学校西側周辺

○スクールバス・路線バス児童約 40 名、三城潟地区 10 名が利用し、児童の多くが通学路として使用する町道である。

○除雪の関係から、取り外し式のフェンスの設置も考えられるが、取り外しに関しては管理の協力を得なければならない。また保管場所も必要。行政区の理解と協力が必要になる。現時点では注意喚起を促すために、スノーポールと路肩杭を短い間隔で建てていくことで対応するという話し合いがなされた。すぐに

対応するという回答があった。(町建設課)

○看板に関しては、道路が狭いため安全な場所への設置は難しい。除雪時は、雪を押しているため看板が壊れてしまう可能性がある。(町建設課)

○学校においては児童や保護者への登下校に関する安全指導を徹底する。

※令和3年8月20日(金)に町建設課によりスノーポールと路肩杭が設置された。



(5) その他 猪苗代小学校 町道【猪苗代・新町線】 学校東側周辺速度規制

○猪苗代警察署 地域交通課上野警部補より提案

現在時速 40 km規制となっている。学校の東側の門とつながる道路であり、通学路にもなっている道路である。時速 30 km規制にしたいとの提案があった。

○合同点検の結果、速度規制を時速 30 kmにすればより安全であることから、速度規制の変更をお願いしたいという話し合いがなされた。公安委員会へすぐに上申するとのことで話し合いがなされた。(猪苗代警察署 地域交通課)

3 その他の通学路について

※ 合同点検に挙がらなかった危険箇所については、各学校で児童生徒や保護者への注意喚起を行うなどして、今後も十分に安全な登下校ができるよう日々の指導をお願いしたい。教育総務課においては、内容に基づきできる限り対応していく。

※ 今回の合同点検は、学校から提出されたものの他に、新しい観点3つを踏まえ地域住民や警察署から出されたものもある。

4 警察署より

(刑事生活安全課より)

現在事件事故に関しては、連続して発生しているケースはなく、比較的落ち着いている状況にある。

大人の各種関係機関が協力し、登下校の安全対策に関してはできる方法を模索しつつ、危機感とスピード感をもって対応し解決していくことが重要である。

5 その他

(郡山国道事務所より)

国道 49 号線に関する通学路について見直しをしているところである。

可能であれば、通学路の一覧表（大地図）があるといろいろと対応できる。

→お示しできるよう努力したい。(事務局)

(猪苗代土木事務所より)

要望があればすぐに検討して対応していきたい。今後もよろしくお願いします。

(猪苗代警察署 地域交通課より)

小中学校の通学路における横断歩道については、学校から中心に進めていく計画。本来に横断歩道が必要なのか、現場を確認したうえで進めていく。また、待つ間に安全が確保できるスペースがあるかどうか、横断歩道の設置に関して重要な点である。

(町総務課より)

2 回目の合同点検があるか。

→1 月に実施予定である。冬期間の通学路合同点検を予定している。(事務局)

(町建設課より)

7 月 9 日付で国土交通省・文科省からあった依頼文書により、再度必要があれば会議を行うようになる。必要があれば、依頼文書を早めに出してほしい。

(事務局より)

(1) 1 月下旬頃に、冬期間の合同点検（第 2 回）を行う予定。

(2) 今回の合同点検と協議内容を事務局で取りまとめ、各機関へ報告する。

(猪苗代町 HP に掲載予定)

(3) 通学路交通安全プログラムに基づき、各機関で対応をお願いする。

(4) 文部科学省より、「通学路における合同点検の実施について」報告依頼が来ている。

各学校からは新しい観点を踏まえて 9 月 1 日までの報告をお願いします。